

林檎

岩手Mac友の会

Vol. 1, No.3 1989.6.8

Iwate Macintosh Funclub

総会を終えて

去る4月11日、上田公民館に於て岩手Mac友の会の総会が開催されました。参加人員は過半数を遥に越える35名でした。多数お越しいただきまして有難うございました。

さっそく決議事項を報告します。

1. 昨年度活動報告

テーマ別分科会は不発でしたが、例会は活発であった。会報が発行できるようになった。

2. 昨年度決算報告。

収入74,018円、支出23,408円、残高50,610円。
今年度は会報発行等支出の増加が考えられるので、年会費は昨年同様2,000円を徴収する。

3. 役員の変更

会長：野村 行憲(留任)
事務局：佐々木 幸司(留任)
編集長：徳 富 亘(留任)
編集委員：首野、熊谷、瀬川、高橋(晃)、杉村、福田、藤村 (順不同)

4. 今後の活動

(1)月例会:原則として第一週の木曜日(水曜ではありません)
日程:5/11, 6/8, 7/6, 8/10, 9/7, 10/5, 11/9, 12/7, 1/1, 12/8, 3/8
場所:現行どおり岩手大学教育研究センターを借用、都合がつかない場合は盛岡市上田公民館の集会室を借用。

(2)次回の総会:4/11

於:盛岡市上田公民館

(3)例会の進め方

現行どおり、サロンタイム、セミナーもどきの時間配分、ただし、セミナーもどきの部分ではできるだけ事前に計画を立てて周知を計る。

(4)例会とは別にセミナーなどを企画する。

(5)例会など会の運営は役員全体で検討、実施する。

このため例会とは別に企画運営会議を開催する。

この会議は原則として、公開とし、役員以外の参加は自由とする。

以上です。

今年度の活動に皆さんのご協力をお願いします。

セミナー

会員からの要望が強かったセミナーを開催することになりましたが、その運営については次のように進めたいと思っています。

1. セミナー参加は有料とする。

会員の全てが参加する訳ではないので、利用者負担の原則で、セミナーの経費を負担する。会員以外の希望者には割り増しの料金で参加を許可する。(会員1,000円/非会員2,000円)

2. 講師には謝礼を支給する。

講師の負担を考えると、全くの奉

仕では長続きしないと思います。

講師謝礼は5,000円~10,000円位

3. 楽しいセミナーを心がける。

コーヒーやデニッシュなどを用意し、自由に飲食しながら、Interactiveにすすめる。

4. ニカ月に一回ぐらい開催。

このためセミナーを聴きたい人達を中心にしてセミナー委員会を組織し、誰にどんな内容で話していただくかの検討と、開催の準備をします。

以上が私の提案です。皆さんの意見とセミナー委員への立候補をお願いします。

Inside

私のMac Life	2
Mac図書館	4
Meet the Mac.	6
英文コラム	7
林檎ギャラリー	8
茶房	9
きままなコラム	10
山の花	12
Mix Now	13
PC-VAN Now	14
林檎ギャラリー	15
from BBS	16
余計なお世話	18
掲示板	19
編集後記	19

岩手医科大学脳神経外科の香城です。Macと知り合ってやっと1年半になりましたが、おこがましくも今回は私のMac Life を御紹介します。

HyperCardでStart Up!

まず、私のMacの起動画面はHyper CardのHomeStackになっています(fig.1)。これに元からあるボタンで使わないものを片っ端から消してしまい、自分で良く使うアプリケーションやDAをOpenするボタンを作りました。つまりApplication LauncherとしてHyper Cardを使っています。アプリケーションを終了するとHomeCardに戻るので、すぐに次のアプリケーションを起ち上げることが出来ます。

MultiFinderが今のところアテにならないので、それならば素早く各アプリケーションの移動ができるようにしようと考えたからです。たくさんあるフォルダーを一々開いてデータやアプリケーションをダブルクリックするのは嫌だったので、それまでもQuickeysを使ってQuick Launchしていましたが、この方がスッキリしているでしょ？また、文献検索やDrug informationなどにもHyperCardを利用しています。私はHyperTalkは全然わかりませんが、StackはたくさんPDSが出ているし、便利なボタンも色々あるので、あっちこっちから見つけてきた便利ボタンをいっぱい張り付けて楽しく使っています。

データ整理もMacで楽しく!

普段の仕事ではMacDrawを良く使っています。私は現在クモ膜下出血後の脳血管収縮の発生機序について、これ



fig.1 Macの起動画面。ボタンを押して好きなアプリケーションに移動します。

を使って効率良く原稿や発表用のデータを整理したいと思っています。

実験計画を立てたり、結果の大まかな分析をするときにはActaをつかっています。実験から得たデータはハンディスキャナー(OMRON HS-10R)を使ってMacに取り込みます(fig.2)。以前はThunderScanを使っていましたが、データをコピーしてスキャンしてもすごく時間がかかる割にうまく取り込めず、痲癩を起しThunderScan用のReadIt!も買ってみました。これはスキャンでMacに取り込んだ画像データを、これはこのままではPaintのデータですが、ReadIt!はそれをTextとして読み込んでくれるソフトです。こいつを使って英文の論文などを自分のデータベースに入れてしまおうと考えたわけですが、たいした時間と労力をかけましたが結局モノにはなりません。その後、ナショナルのコンピューターで同様の機能(OCR)を持ったものをデモに来てくれたことがあり、期待(失敗するのを?)して見ていましたが、英文に関してはスティングにもかわらず、あまり良い結果ではありませんでした。但しこちらは流石に国産機なので「売り」は日本語の読み込みなのですが、日本語の文章を読み取ることにかけてはたいしたものでした。使い込めばほぼ100%正しく読み込めるようになると思いますが、これは英数字を読み込むときは一字ずつ読み取るため、雑誌などからのコピーを読みたいようになってしまう事が原因のようでした。その点日本語の活字はOCRに適しているのでしょうか。

ThunderScanは今でも写真や大きい画像を取り込むのにた

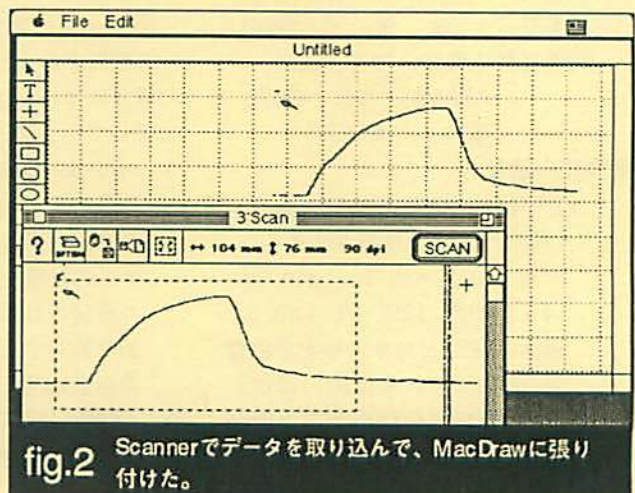


fig.2 Scannerでデータを取り込んで、MacDrawに張り付けた。

まに使っていますが、とにかく時間がかかりますね。ハンディスクャナーは取り込みの大きさに制限はありますが取り込み時間も早く、手軽なので、うまく出来るまで何回でもチャレンジ出来るので重宝しています。また、データを直接なぞってカットを取ることが出来るので、今となっては欠かせません。今まで、生データのカットを取って、そのまま保存していましたが、

今はDrawToolでデータの上からトレースし、元のスキャンデータはClearします。これで随分データのサイズが小さくなりました。これに説明の単語や文章をいれて、うまくlayoutすると完成です(fig.3)。

また、Excelで表を作り、Cricket Graphでグラフを作成し、Picture形式で保存します。それを再びMac Drawで開いて修飾します(fig.4)。しかしこういう作業をSEの小さな画面でしていると、大きなディスプレイが欲しくなりますね。こうやってDrawで作った図表が、レーザーライターで印刷するとそのままプレゼンテーションに使えます。先日、無理を言って発表用のポスターをNTX-Jで印刷してもらいにICSにお邪魔してきましたが、MacIIの画面上での作業は非常にやりやすいものでした。またNTX-Jの印字品質も文句無しですね。

藤村さん、お仕事中大変お手数をおかけして申し訳ありませんでした。でも、またいつかお願いします(甘いかな?)。ところで英数字とMacDrawで描いた図表を印刷するなら、レーザーライターSCでもほとんど遜色のないきれいな印刷が出来ることもわかり、最近本気でSCの購入を考えています。でも高いなあ。そこでSC用の大きなフォントだけもらってきてImageWriterで印刷してみると、結構きれ

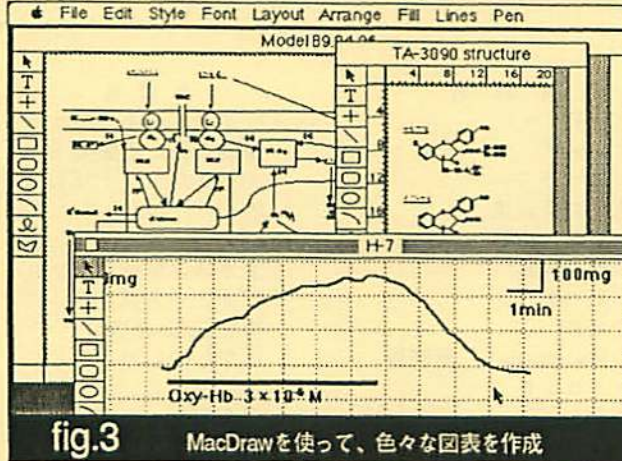


fig.3 MacDrawを使って、色々な図表を作成

いに印刷できるのです。考えてみればImageWriterでも2倍の大きさのフォントがあればベストの状態では印刷できるのは当たり前ですが、OsakaとKyoto以外は全部捨ててしまっていたわけでした。失敗!

Coach!

あと、重宝しているのは英文スペルチェッカーの

Coach DAです。最近Macのソフトのマニュアルなんかテキストデータでフロッピーに入ってくることも多いですが、そういうのを開いて、わからない単語はCoachの英英辞書を使ってどんどん調べて行きます。私はこの会の会員の中でも最も英語のできない部類の人間の一人なので、英語の勉強をするときもテキストをMacにどんどん入れながらCoachで調べていくと、大まかな意味がわかってきて、結構楽しめます(fig.5)。

Game!

私は当直で家に帰らないことも多いのですが、大抵Macを持ち歩き、Puppy Loveの犬を眺めています。これからはもっとゲームソフトを買って、女房や子供と一緒に遊びたいですね。

That's it!

次号は誰のMac Lifeかな?

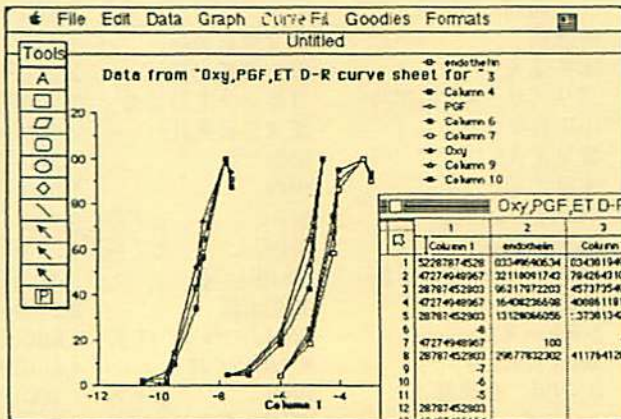


fig.4 CricketGraphの画面。細かい計算はExcelで行ない、主にグラフ作りに利用しています。

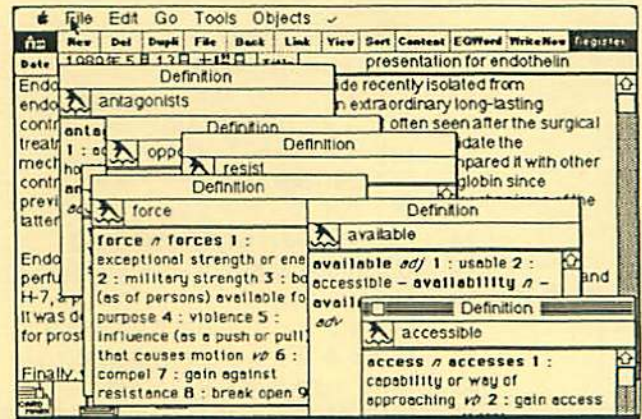


fig.5 Coachで英単語を片っ端から引いて行きます。日本語にしてくれればもっといいのですが。

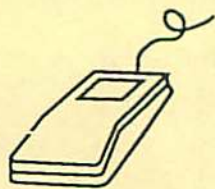
Mac図書館

ジャンル	No.	書籍名	著者名	出版社	価格
一般書	1	アメリカン・ドリーム	マイケル・モーリッツ	二見書房	1,600円
	2	株式会社フロッグ	藤幡正樹と黒塚直子	角川文庫	620円
	3	実録!天才プログラマー	マイクロソフトプレス社	アスキー出版局	1,900円
	4	パソコン革命の英雄達	P・フライバーガー	マグロウヒル	1,800円
	5	アップルをつくった男ウォズ	ダグゲール	ダイヤモンド社	1,450円
	6	Two Steves & Apple	オオープンシャ・ムック	旺文社	2,500円
	7	スカリー 上下	ジョン・スカリー	早川書房 上下各	1,700円
マック解説	8	みんなのマック	徳原弘志+原啓介	BNN	2,900円
	9	はじめてのMacintosh 1. 基礎編	はやしとしお	BNN	1,500円
	10	Macintosh	阿部摂子	誠文堂新光社	2,000円
	11	入門マッキントッシュ	ジオデシック編著	日本実業出版社	2,300円
	12	Macintosh on Business	初井宏文	JICC出版局	2,300円
	13	MACの達人	紀田順一郎+松田純一	技術評論社	1,200円
	14	Macintoshゲーム倶楽部	バグニュース編	BNN	1,500円
	15	テトリス10万点への解法	石原恒和	ベヨトル工房	980円
	16	知的書齋派のためのパソコン情報整理術	田中輝彦	HBJ出版局	1,200円
	17	デスクアクセサリブック	大重美幸+RD編著	日本実業出版社	2,500円
	18	Macintosh at Working	栗田伸一+阿部摂子	誠文堂新光社	2,000円
	19	Macintosh Family Tree	栗田伸一	誠文堂新光社	2,000円
	20	マッキントッシュ・ガイドブック	大谷和利	毎日コミュニケーションズ	2,800円
	21	マッキントッシュ・ガイドブックII	毎日Mac研究会	毎日コミュニケーションズ	2,700円
22	MACの便利玉手箱	毎日Mac研究会/白石富男	毎日コミュニケーションズ	2,600円	
ワープロ	23	まるごとMACまるごとWORDまるごとJAM	大川内勝司	エーエンドエー	2,500円
	24	Macintosh Desktop Publishing	寺久保吉完	誠文堂新光社	2,000円
DTP	25	日本語ページメイカー	大谷和利	BNN	2,300円
	26	Macintosh Logo	Logo Some Z,s編	誠文堂新光社	2,000円
言語	27	Macintosh C	小塚雅弘	誠文堂新光社	2,000円
	28	Macintosh Pascal	森石峰一	誠文堂新光社	2,000円
	29	C言語プログラミング技法	監修/編集インタープログ	BNN	3,500円
データベース	30	4thDemention	西村早苗	誠文堂新光社	2,600円
	31	CompuServe	本多重夫	誠文堂新光社	2,000円
通信	32	マッキントッシュ通信	川上直也	毎日コミュニケーションズ	1,900円
	33	Macintoshエクセル入門	滝沢博	毎日コミュニケーションズ	2,600円
エクセル	34	初めてのMacintosh 2. エクセル編	BNN	1,600円	
	35	日本語エクセルトレーニングブック	森なおみ	翔泳社	2,200円
	36	ここまでできるマイクロソフトエクセル	福谷修二+手越義昭	井上書院	2,300円
	37	目的別実践エクセル活用ブック	毎日Mac研究会	毎日コミュニケーションズ	2,600円
	38	マイクロソフト エクセルマクロ入門	Douglas Hergert	BNN	2,800円
	39	入門ハイパーカード	HCファンクラブ	日本実業出版社	1,800円
	40	日本語入門ハイパーカード	大谷和利	BNN	1,800円
ハイパーカード	41	Macintosh HyperCard	阿部摂子	誠文堂新光社	2,400円
	42	Macintosh HyperTalk	本多重夫	誠文堂新光社	2,200円
	43	ハイパーカードの7つのカビジュアル編	グリズリー+大谷和利	日本ソフトバンク	2,200円
	44	ラーニングHYPERCARD	小田島孝久	誠文堂新光社	2,200円
	45	HyperCardマカクエ7の作り方	鷺見正人	BNN	1,200円
	46	日本語HyperCardハンドブック	大重美幸	BNN	1,500円
	47	ザ・ハイパーカードVol. 1, 2	Danny Goodman	BNN 上下各	3,200円
	48	ハイパーカードマカクエ7開発技法上下巻	Danny Goodman	BNN 上下各	4,200円
	49	ひり&りりふあ'のハイパーカードの玩具箱	松原卓二+加藤みゆき	HBJ出版局	11,480円
	技術書	50	Macintosh	西林端夫	共立出版
51		マッキントッシュの道具箱Vol. I,II	Stephen Chernicoff	BNNハイパーメディア 各	4,800円
52		続マッキントッシュの道具箱 Vol. I	Scott Knaster	ハイパーメディア 各	4,800円
53		インサイドマカ徹底ガイド 上下巻	BNN第二企画部	BNN 上下各	3,200円
54		Inside Macintosh Vol.I II, III IV日本語版	Apple Computer Japan	ジソクエスレィジャパン各	19,500円
55		Inside Macintosh Vol.I, II, III, IV, V英語版	Apple Computer	ジソクエスレィ 各	6,000円
56		98ユーザーのためのMac Book 特別編集	MACLIFE特別編集	BNN	1,500円

対象者 初:初級 中:中級 上:上級 全:全員
 評価 ○:優 ○:良

No.	初版	書 評	ランク
1	85年	アップルIIからマックまでのアップル社の企業急成長について詳しく知りたい方へ	全◎
2	87.11.10	ナンセンス小説。Macにより作成された大量の差し絵。必見の価値あり	全◎
3	87.02.11	マックOSの「デベロッパーズ」マッキントッシュ生みの親ジェフ・ラスキン他開発者のインタビュー	全◎
4	85.02.25	ウォズ・ステイブの初期の時代の物語他。パソコン初期のハッカーの奮闘ぶりについて	全◎
5	85.01.24	天才ウォズのアップルII物語。ウォズの技術者魂について詳しく描写	全◎
6	83.12.10	ジョブ、ウォズニャックが語る「パーソナルコンピュータとは」大判カラー誌	全◎
7	88.11.30	スカリーの「キスデイ」を交えた企業戦略物語。情報とアイデアの持つ力について	全◎
8	89.04.20	マックの基本「ハードウェア」や「ソフトウェア」などマックの豊かな才能を紹介した初心者への参考書	初◎
9	89年	いままでコンピュータを使ったことがない基礎の基礎を学びたい人のための本。	初◎
10	85.07.23	感覚派のためにMac操作説明MacPaint.MacWriteをやさしく解説。	初◎
11	88.01.30	マッキントッシュのコンセプトについてをわかりやすく説明。図版豊富	初◎
12	88.05.20	Excel. EG-word. Book. SuperPaintなどを使用して「視点」から説明	初◎
13	89.01.25	深遠なアップル精神についての文芸評論家、商社マン二人のFAX交友録	全◎
14	87年	MACGOLF. WIZARDRY. PUPPYLOVE. RACTERなど紹介	全◎
15	89年	資本主義国のコンピュータマニアが病気になったソビエト・プロレタリアートゲームソフト	全◎
16	88.07.16	知的生産ツール・マックを用いた書齋術。文科系からのアプローチ	初◎
17	88.05.30	かなりの数のDAについて細やかに解説	全◎
18	86.09.03	MacDraw. More about Macpaint. FullPaint ETC紹介。マウスを使う電子ガリ版Macintosh	初◎
19	86.05.16	MACのコンピュータ文化とルーツをインタビュー	全◎
20	87.11.30	SuperPaint. ThuderScan. Voila! MORE. etc. メニューを日本語解説	中◎
21	88.07.20	FileMakerPlus. Canvas etc. メニュー日本語解説付き	中◎
22	89.04.10	知られていない便利な情報「ユーティリティ」紹介。ほんとに便利な玉手箱	全◎
23	89年	あのスイートJAMを開発した大川内さんが書いたMICROSOFTWORDの解説書	中◎
24	88.07.08	EGWord. Book. SuperPaintを駆使したDTP制作。日本語デスクトップパブリッシング	全◎
25	88.09.30	マニュアルをさらに掘り下げて解説。ページメーカーの日本語バージョンの入門解説書	中◎
26	86年	LOGOについてのやさしい解説書	全◎
27	86年	Cについてのやさしい解説書	中◎
28	86年	Pascalについてのやさしい解説書	中◎
29	89.05	Mac Tutor誌に掲載されたC言語による約30本以上のソース・リストと解説記事一挙掲載	上◎
30	89.02.17	4thDementionについて事例をもとに解説	中◎
31	87.10.30	MacのSmartComII用いたCompuServe通信	中◎
32	89.03.10	NinjaTerm. ASLTalk. InterFax. SmartCom. Red RyderHost説明	全◎
33	87.09.10	事例を用いたEXCELやさしい操作説明書	全◎
34	89年	いまひとつ使いこなせていない人向けの解説書	初◎
35	88.01.25	女性が書いたEXCELやさしい操作説明書	初◎
36	88.09.22	知っておきたいテクニック. 応用事例付き	中◎
37	88.12.20	マクロを使用した事例とマクロ作成方法	中◎
38	87.12.04	マクロについての詳細説明	上◎
39	88.11.30	作成事例とXPCN XCMDリファレンス	中◎
40	88.07.30	マニュアルよりやさしい初級ハイパーカード	初◎
41	88.10.08	ハイパーカードの概要説明	初◎
42	88.12.24	ハイパートークの概要説明	初◎
43	88.12.15	特にグラフィック部分についてやさしく説明	全◎
44	89.04.20	特に音と絵のスタックを重点に解説	初◎
45	88.08.31	スタックウェアの基礎とスクリプト集	中◎
46	88.11.10	ハイパーカードのヘルプにない「メッセージ」の解説	中◎
47	88.03.31	ハイパーカードについて詳細説明	全◎
48	89年	マック設計の指針や戦略、マックの階層構造	上◎
49	89年	ディスク2枚と書籍の「ディスクインビュー」パソコン通信	初◎
50	88.02.10	MacについてOSの原理. 特徴. 技法 現在新版発売。新版はHypercardについてを追加	中◎
51	87.04.30	MacPLUSの64Kツールボックス詳細説明。Pascalの事例つき	上◎
52	88年	「デバッグ」予備知識TMON使用の「デバッグ」	上◎
53	87.08.01	Macツールボックス詳細説明	上◎
54	87年	待望の完全日本語翻訳版 開発者必携	上◎
55	84年	英語版。マックで開発する全ての人たちが必携	上◎
56	89.04	MS-DOSユーザーにMacをわかりやすく説明。MACLIFE誌の特別編集ムック 別冊	全◎

Meet the Mac



創刊2号では「Macと私」のタイトルで皆さんに紹介しましたが、タイトルがまぎらわしかったので、今回から新たに「Meet the Mac」と改めて会員とMacの出会いを語っていただくことになりました... よろしく

何か神秘的な

...by 熊谷朋也

私のMacとの出会いは、今から3年前のことです。そのころは、Mac Plusが最新機種で、1台80万円位していたころです。

どこにあったかという、私の会社の机の上座、つまり野村さんのところ。会社でも、誰一人Macのことを知る人がいない頃でした。(そのため、野村さんはいつもMacに付いて話が出来ることがほしいとほやいていました。) 私はちょうどHitachiの2020というワークステーションでMS-DOSを使って、仕事をしているときで、初めて見たとき何か神秘的なものを感じ興味をもったものでした。Mac Drawの操作性の良さ、EXCELの機能の素晴らしさ、マウスやグラフィックなど、仕事では体験のないものでした。何とんでも驚いたのは、ファインダーの機能と独特のスタイリングのよさでした。

しかし、当時のMacのマニュアルはすべて英語のため、とても私には使えらると思いませんでした。

それから半年後、日本語EXCELが発売され、マニュアルも日本語化された

ため、とうとう購入することにしました。そのとき私が購入したのは、Mac Plus、External Drive、Image Writer II、EXCEL、MacDraw、EGWord、Full Paint、Copy II Mac、キャリングバックなどでした。金額にして85万円位だったかな? 今なら40万円位で買えると思います。(随分と短い間に値段が変わりましたね。)

現在Hyper HD20とメモリー2Mbを中古で譲っていただき、Fanny Macを



いただきAIWAのPV-A1200を購入し接続しています。(皆さんありがとうございますございました。)

それからしばらくして、MacのUser会を始めようと声をかけられました。しかし、当時はいったいどの位の人がMacをもっているのか皆目検討もつかず、ただただ不安でした。野村さんがあちこち調べて何とか出来そうだと聞

いたときは、せいぜい10人位だと思っていました。

しかし、いざ集まってみると40人以上の人が集まり、おまけにアメリカ人までいてとてもびっくりしました。

現在これらの人たちと知り合えて非常によかったと思っています。とても1人では、今のようにMacを使いこなしていなかったと思います。(実はまだまだ)

私の現在の使用状況は、1位がTetris、2位はBBS、3位がHyper Cardのスタックの解析(IKENAI、syoujoなど)となっております。これからの目標は、Macを使っていろんな装置の制御をしてみたいと思っています。どなたか、参考になる資料をお持ちでしたら教えて下さい。

それともう一つ、自分でPDSを作りたいと思っています。Hyper Talkなども楽しみの一つです。ただ、最近困っているのは、私は、この道でめしを食っていますので、一応プロということになり

ますが、Macについては、知らないことが実に多いのです。しかし、周りの人に質問すると、素直には答えが返ってきません。どうか皆さん、かわいそうな私に愛の手をさしのべてください。



ググッと接近

...by 菅野卓矢

Meet the Mac の欄に私の記事が載るのが果たして正しいことなのかどうか、甚だ疑問である。と言うのは皆さんが多分そうであろうと思われるいくつかの「Mac を手に入れようとした動機」が不足していると自覚しているからである。

まず第一は他のコンピュータと比較して購入した訳ではないこと。第二は、当時（現在でもあるが）Mac のことは何も知らなかったこと等である。

創刊 2 号をお読みにになった方はお分かりになるかと思うが、私はコンピュータ屋なのである。なのに他のコンピュータと比較しなかった。いや、比較できなかったほど異質に思えたのである。私の頭の中で、最初に浮かんだことは、仕事の道具として使えるな...と言う実感があったことだ。

今までは、商売としてコンピュータに仕込むプログラムのことだけ考えていたのが、自分の道具として使おうと思ったときに、Mac が私に急接近してきたように思える。西日が差し込む窓に近い席に陣取って、やる仕事と言えは現場の仕事を離れた、管理の仕事、一覧表の作成、お客さんへの提案書作成などが主な仕事となってくる。毎日時間に追われて資料を作成しているのが徐々に片付き始めた。（実際には仕事量が増えたのであまり片付かなかったのだが）私にとって、この環境を手に入れるだけで十分だったのである。だから第二の何も知らないになるある。知る必要もなかったと言うところだろうか。

当時（1年半位前かな？私は買ってしまったものをいつ買ったか覚えておく趣味がないので...）漢字Talk がなくて英語版で動かし、Plus で使用していた漢字Talk1.1 だったかを拝借

して動かしたことを覚えている。

その後漢字Talk2.0 かなんかのバージョンアップでROM を交換してもらったこともあるし、しばらく我慢していたRAM も1MB 追加した。何が何だか分からないうちに、すっかり仕事に使っていた。気がついたら、この記事を書き始めるすぐ前まで、仕事で百数十頁はある書類の山（実際には山にならず800KB にちょっと余ってフロッピー2枚といたって寂しい）と格闘していたところなのだ。いわばDTP と言ったところだろうか。現在の書類の作り方として、文書をワープロで作成し、パソコンで作ったものを、通信機

能を用いてMac に取り込み、Page-Maker で編集し、一応の外枠を作る。そして差し絵の部分はマックドローII で、グラフや表はExcel を使って作成する。それらを合成して書類として完成させる方法を取っている。使い方はいたって簡単である。差し絵にマックドローII を使用したのは、仕事の関係上自由画的な作業でなく、配置図、概念図などを作成することが多く、この点マックドローはもってこいのような。こうしてMac を使っている自分にはっと気がついてMac の虜になっていることが分かるでしょ、皆さん。

Do You Have a Dream.....?

...by R.Lammers

The world's music is full of songs about dreams. One I remember is: "I dream of Jeannie with the light brown hair,"the dream of a young man in love with a beautiful girl.

Martin Luther King declared: "I have a dream!" He too was in love. He was dreaming of a day when the black people of America, and of the whole world, would receive equal rights. His dream inspired him to speak out for human rights even when it meant imprisonment. So deep was his love for his people. It is unfortunate that he was killed long before that dream could be realized. But because he had a dream others have been inspired to continue in the struggle for human rights, not only for the black people, but for all people.

Dreams are important to us. Dreams keep us reaching out beyond the present moment. Our dreams keep reminding us that there is something more and something better beyond what the present moment offers. Without dreams we end up in despair. We give up because we look only at the difficulties....and then everthing looks impossible.

Richard Rogers and Oscar Hammerstein, (Sound of Music) challenge us to work hard to make our dreams come true in the song: "Climb Every Mountain."

"Climb every mountain, search high and low,

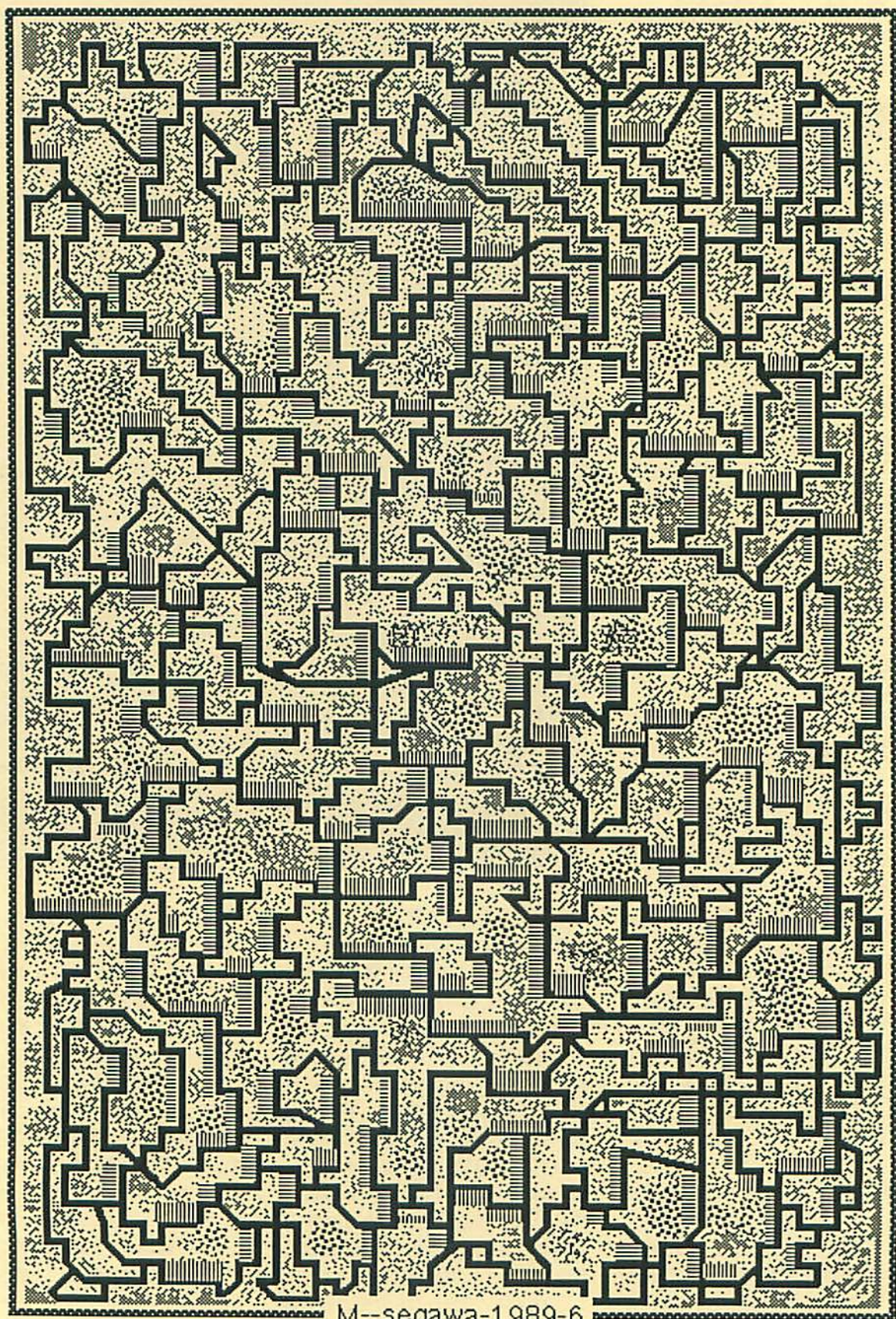
Follow every by-way, every path you know,

Climb every mountain, ford every stream,

Follow every rainbow, 'til you find your dream."

It takes much effort to make our dreams come true. But dream we must. He who has no dreams may be said to be dead already. Do you have a dream?

Ringo Gallery



M--segawa-1989-6

by 瀬川昌男

親米、親Macのユーザーの皆さん。
毎日のテレビ新聞を見る度に、あのMacの母の国が何であんなにもジャバンパッシングに目の色を変えるのか不思議に思うことが多いのではないのでしょうか。そこで世界は、アメリカは日本を誤解していると思う前に相手の立場から見て日本はどう映っているのか次の会話を一例として紹介したいと思います。

アメリカ人 米を買え。

日本人 買えない。食料自給が安保につながる。それに田んぼがそばになると不安なんだ。

ア] それをやる程たくさん農業人口があるの？

日] いざというとき米作りだけは国民総動員でやるさ。

ア] ところで米の備蓄はたくさんあるんだろう？去年の分まで食べきれないそうじゃないか？

日] 米は日本人の精神だ。これだけは自給しなくては民族のバックボーンが崩れる。

ア] 小麦や大豆は輸入してもいいの？うどんや豆腐には日本人の精神はないのか。どうして同じ炭水化物なのに小麦と区別するのか明解に教えてもらったことがない。

日] うるさい次の質問は何だ。

ア] なぜオレンジに神経質になるんだい！

日] ミカン農家がやられるからさ。

ア] せめてミカンのないシーズンだけ(春夏秋)自由にしたら。

日] そうなれば、買い占めするやつが出てきてミカン農家がつぶれる。

ア] なぜミカンじゃなきゃいけないんだ。

日] 日本人昔から正月コタツに入ってミカンを食べるのが習わしになっている。日本のもっとも日本的な習慣だ。これがなくなれば日本人は非常に淋しくなる。

ア] そんな昔から好きならミカンは十分売れて農家は困らないだろう。

日] 安いオレンジが入ってきたらどうなるかからない。

ア] その程度にしかミカンが好きではないのか。

日] いや大好きだ。日本のおいしいミカン農家を何とか守ってあげたい。

ア] そんなにおいしのなら外国にも輸出したらどうだ。

日] それは農家が強く望めばそうすればよい。

ア] アメリカのオレンジや米の農家はもっと輸出したいという希望を強く持っている。

日] それはアメリカの勝手だ。

ア] 君はさっき、農家が望んだらすれば良いと言ったじゃないか。もう一度言ってごらん。

日] うるさい勝手にしろ。日本男子は一度言った言葉を翻すことはしない。

ア]しばらく沈黙

茶房 日米会話合戦



日]

ア] 黙っていても500億ドルもの貿易赤字は解消しない。

日] 我々も努力するから待っていて欲しい。

ア] いつまで！

日] 複雑な国内問題も絡んでいるので明確に答えられない。

ア] 国民も議会も苛立っている！黙っているとその内、ニューヨークもワシントンも日本人の土地になってしまう。道路はトヨタとホンダばかり走っている。アメリカは日本の植民地じゃないんだ。

日] こちらもあまり米国からの圧力があると反米感情をあおることになる。

ア] 圧力はかけていない。聞いているだけだ。

日] それが圧力に見えるのだ！日本人ならそんな質問をしない。日本で

は質問をすること自体が失礼なのだ。

ア] じゃあどうやって疑問を解消するのか？

日] 長く一緒にいれば、段々分かってくる。

ア] もう百年も付き合っているけれどわからない。わからせようと努力していないのではないか？

日] 建前と本音の違いだ。日本では軽率に自分の意見を言うことを慎まなくては偉くなれない。

ア] アメリカとの交渉にはもっと自分の意見を言う人を出してくれ。

日] そういう人は偉くなっていない。大体アメリカ人が日本の議論の仕方を学ぶべきだ。我々は、もうアメリカなんかから学ぶことはない。日本だって世界第2位の工業国だ。馬鹿にするな。

ア] 馬鹿にしているよ。ところで、そんなに学ぶものがないなら技術ライセンスはすべて停止して良いか？

日] いや、待ってくれ。日本でも高価な金を払って買っている。盗んでいわけではないので変なことはしないでくれ。アメリカは日本を警戒し過ぎている。日本はまだまだ子供なのだからそう大人げないことはするな。

ア] 今言った前の話をもう一度言ってくれ。学ぶことがないのかあるのか、ちょっと良く聞き取れなかった。

日] 矛盾したことの中に真実があるのだ。その辺を汲み取ってくれなけりゃ友達とは言えない。

ア] わかった。お前の話を聞くと頭が混乱するから、我々是我々が勝手にする。我々は開いたのを少し閉めるだけだが、日本は閉じているのをわずかに開いているだけではないか。

日] とんでもない。日本の市場開放は世界一進んでいる。日本は自由貿易の旗手だ。国連中心外交、国連万歳！自由貿易の旗手万歳！

大前 研一 「新国富論」 より一部引用しました。皆さんの感想はいかがでしょう？

第3回

「未確認異形物体発見！！」



前回は紙と鉛筆と消ゴム、定規...典型的なアナログ型の事務処理からコンピューターを利用したデジタル型事務処理に移行しつつあった時期のアレコレをお話ししました。私は根本的に昔も今もアナログ型の人間ですから、(その証拠に私は職場を離れたプライベートな環境でコンピューターに触れる事はまずありません)コンピューターのオペレーションにはえらく苦勞しています。(現在進行形！)

■とっぴょうしもない 林檎との出会い

前回はどこまで話したのかな?ええと..(と前回の原稿を見直して)そうそう、AppleIicを使用して仕事をこなす様になったところまででしたね。コンピューターとは何ぞや?と無我夢中で学びながら、それでも仕事優先ですから、各種規定、銀行提出用書類を作成し、休み時間には「マスタータイプ」に没頭し... (日本人は元来タイプする習慣がないのでコンピューターアレルギーに陥り易い傾向にあります、それを克服するにはこれが一番良いかと思います。ゲーム感覚で毎日10分程度、それを1ヶ月も続けるとかなりタイプする事が可能になります。私は現在でもマック用に移植されたマスタータイプを病院の新人研修用に使っています)そんな毎日

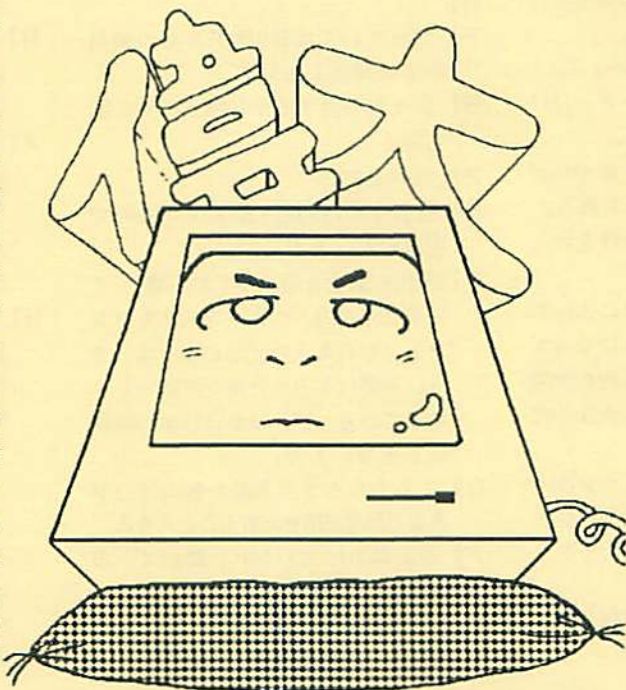
だったのですが、使い込むにつれ次第に幾つかの不満が出て来るようになりました。「文字がきたない」、「スピードが遅い」、この2つが最大の不満で、何か良いステップアップマシンはないかなあ...と考えるようになりました。

その頃には少しはコンピューター知識も増えていましたから、当然都内の様々なショップに通い、情報收拾に努めるといってお決りのコースを辿っていたわけで、ある日使用していたイメージライターの調子が悪くなり、湯島のESDラボラトリーに出かけ、運命的な接近遭遇を経験する事となります。イメージライター修理待ちの時間、店内をいつもの通りブラブラと見学していたら一つのコーナーに異常な形態の物体があったのです。「異常な形態の物体」..これこそデビュー間もなく展示されていたMacintosh128Kでした。口がひん曲ったダルマの様な、おおよそコンピューターらしくない物体を眼前に見据えながら、「なん

じゃ、こりゃ?」が私の正直な第一印象だったことを今でも鮮明に記憶しています。私のコンピューターに対する既存のイメージを「????」で包装し、ゴミ箱に捨て去るに値する、そんなマックとの出会いでした。その昔、アップルIIとの出会いの時と同様、何も出来ずに「ただ見守るのみ」でした。私は仕事に使用できるか否かは別の次元の問題として、殆ど直感的にこの得体の知れない(アップルの製品であることは解りましたが)おおよそコンピューターらしくない物体に強く惹かれました。無性に自分のデスクに置いてみたくなりました。

きっと自分を包装した「????」が一体何であるのかを確かめずにはいられない程、自分の好奇心が刺激されたのだと思います。店員から「もうすぐ512Kモデルが出るからそれを購入した方が得ですよ」とのアドバイスを受け、その日は第1種接近遭遇のみで帰路に着きましたが、さあ、それから夜に日に挙げてマックに関する情報の收拾に没頭です。が、しかし...あっけにとられて笑ってしまえるほど、情報がないのです。

そうこうしている内に日本語で書かれている本が一冊だけ見つかりました。マイクロソフトが出版し、日本ではアスキーが翻訳した、その名もズバリ!「マッキントッシュ」という本がそれでした。理解し易い本でしたが、(つまりそれはコンピューターの教則本らしくなかった事を意味します)それでも実体は未だ不明なり..という事でショップの往復に明け暮れる事になり、所謂コンピューターエンスーの王道を突っ走る事になるわけで



カット：高橋智子 (江陽台病院産務課)

すが、結局蛇の道は蛇という事で、購入しなければ納得不可能という結論に達し、自分の資金繰を睨みつつ個人で買い込む事になりました。(仕事で使えるかどうか解らないものを業務上の予算請求により賄う訳にはいきませんから)

■おつき合いの始まりと「うさぎの目」

こうして、ファットマック(Macintosh 512K)を入手してからの毎日は悩み、驚き、怒り、そして喜びの連続でした。デスクトップ、ファインダー、ウィンドーマネージメント、プルダウンメニュー等々、既存のコンピューターとのインターフェイスの違いに戸惑い、逆にファイルコピー処理などの容易さに「こんなにも便利だ」と実感した時には正直に狂喜し、そして何時になっても日本語が走らない環境に怒りを爆発させ....本当にそんな毎日でした。

あれやこれやの毎日でしたが、マックを職場に持ち込み、マルチプランとマイクロソフトファイルで仕事を始められるまでになりました。無論、日本語は使えないので、「総てローマ字」の制限の中での話です。「英語ばかりでしょもないなあ〜」と嘆いていた時、一つの興味あるテーマに出会いました。一体何か?それはコンピューター通信(平たく言ってパソコン通信)です。マックを使用しての通信については前述した本「マッキントッシュ」の最終章にも書かれていたのですが、その時点では何のこともやらさっぱり解らずでしたが、国内の雑誌にポツリポツリとその手の記事を見受ける様になったので、(無論その殆どがMS/DOSの世界での話ですが)「これはマックでやってもおもしろいのではないか?」と感じ、必要な機材は音響キャプチャー、それに通信ソフトという事でそれ!とばかりに入手にひた走り、外国はThe Source、国内は草の根BBSにと接続をしまくりました。知識や技術的な興味以上に他のシステムに接続した

瞬間に得る快感は大変なものでした。つまりそれまで「自分とコンピューターのみ」の関係が当たり前で、常にマックは私の入力にのみに反応していたのに、ホストと接続した瞬間、相手からのメッセージがこちらの意志とは関係なくマックのCRTに現れる...これまた今迄の私の既存概念を打ち破るに十分な要素でした。まさに「We are not alone!」といったところでしょうか。

(これからのコンピューター利用に通信は恐らく不可欠な要素となる筈で、この事はステイブジョブスが言った「パソコンがもっと身近な存在になるためにはパソコンが使い手に意識させることなく、電話の様に”自由に話せる”事が重要だ」という意見と合致していると思います。通信に関する話題はその折々に触れて行きたいと考えています。マックにおけるパソコン通信において、私は自分が先駆的だったと自負していますが...)

こうして、日中はマック相手に怒りの仕事、宵から深夜にかけては通信にひた走り...と殆ど異常なまでのマック三昧に溺れる毎日にあいなる訳です

が、疲れ果て、私の目が殆ど「兎」になりかけた頃、日本におけるマックの環境にある変化が起こります。それが「EG-Bridge」、「EG-Word」という本格的な日本語環境を思わせるソフト達の登場でした。

今考えるとしょもない感じですが、当時その登場はマックにすぎる私にとっては仏の様に有難い代物だったのです。

何しろ「全く英語に無知な日本人の海外旅行」に「通訳が付いた」に等しい程ですから、それは殆ど神の祝福に近いものです。(決して大きすぎなく)

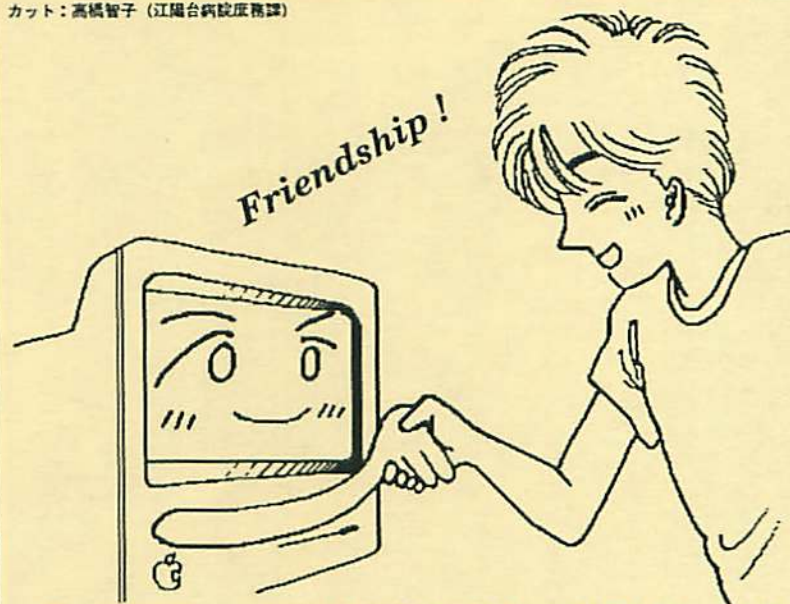
「これで病院にもマックの存在を認めて貰える!」と喜び勇んだのも束の間、マックは冷徹にも新しい問題をCRT上に映し出していました。

「メモリーが不足です!」

私の顔は殆どヒョウタンツギになりました。

(この顛末は次回にて!)

カット:高橋智子(江陽台病院庶務課)



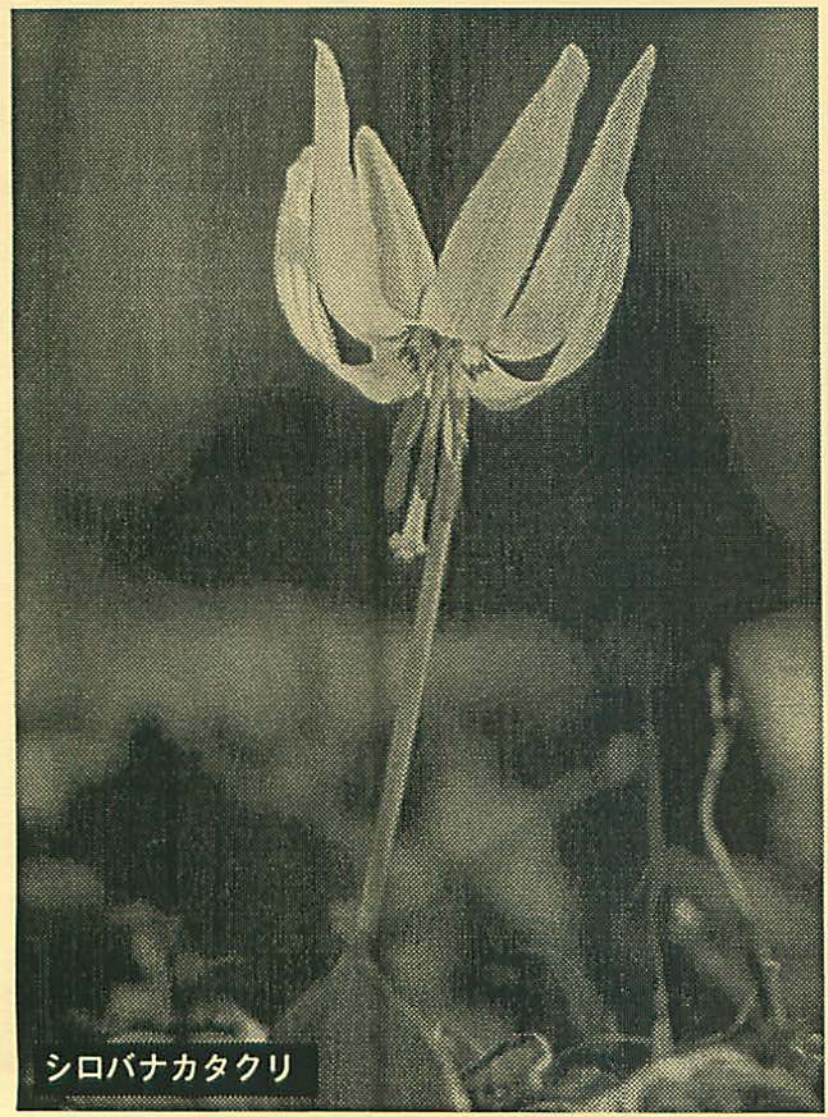
アップルはMacintosh512Kを発売するにあたって愛称を「ファットマック」ではなく、「ビッグマック」にしたかったのだけれど、マクドナルドに同名のハンバーガーが存在していて、断念したという逸話があります。真偽の程は不明ですが、発売する製品名に機械的な数字だけではなく、愛称も大切にすることを社ですから考えられない事ではないかも。

前

号に引き続きシロバナカタクリを見て下さい。花卉の中にWのマーク見えるでしょうか？昨年の白花では見られなかった、この赤いWマークのあるものに出会えればと思っていまして、昨年のカタクリの大群落を四回目に訪れたときに見つけました。普通のカタクリでも濃い赤紫のマークを持っているのが三分の一くらいです。もう一つの別の白花にはマークが見えませんでした、フィルムが現像から帰ってきてから、黄色いマークが有るのを見つけました。思いも寄らない発見に驚き、喜んでます。色素の無い白花では、本来黄色であるべきなのです。そうすると、赤いマークは逆に説明がつきにくくなりました。白花を見ていると、清らかで余りにも美しいので、数万本の大群落の貴重な四輪に出会うことが



ヒメコザクラ

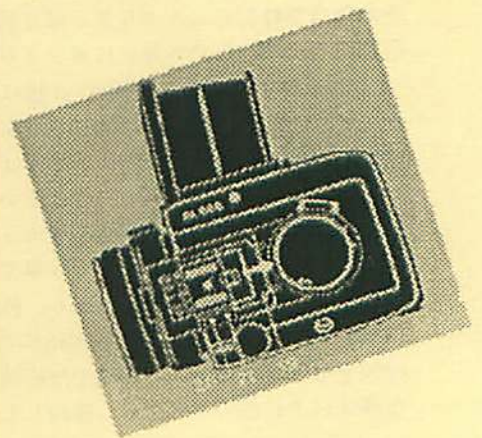


シロバナカタクリ

出来たのは神様のお導きではないか、でも「寿命が短いので特別扱いされているのでは」とかんぐったりしています。いずれにしても、今年は、新たに二輪の白花を見つけ、それぞれ赤と黄色のWマークつきで、幸先の良い花の季節のスタートを切ることが出来ました。来年は、更に良い角度からの撮影をしたいと思います。

早

地峰の高山帯で一番早く咲く花は、ヒメコザクラだと思います。姫小桜—小型で可愛らしい桜に似た花。早地峰にしかない花です（大東町でも見つかったと言われています）。早地峰では珍しい花ではありませんが、一般の登山シーズンには花が終わっていますので、余り知られていないようです。二週間前、下山してくる人に「蕾が出ているので、もう少しで咲きそうですよ」と言われ、五月二十日午後4時半から、霧の中を雪渓で登山道を見失いながらもヒメコザクラと再会することができました。一年ぶりに見る花は、良く知っているはずでしたが、会わないでいるうちに、頭の中で高さが10cmにも膨らんでいました。しかし、本物は3cmしか有りませんでした。ああそういえば、この花のために新しいカメラを買い、接写用具を揃えたのでした。1cmにも満たない花びらは、強い横風にも耐え、雫をつけてたくましく、しかも美しく咲いていました。夢中で撮影し、急いで下山しました。やはり雪渓で道に迷い、日没まで時間がないので焦り、このままでは遭難も有りうるなと思いましたが、日没前にどうにか登山口に辿り着きました。自宅についたのは、午後八時でした。それでもあのヒメコザクラに会えたのですから！



MIX Now

by 福田健次

今回は、概括的なことをお話ししました。

MIXの膨大な数の会議の名前を見ているだけで、よくもまあ人間の興味は多岐にわたっているものだと感嘆を新たにします。私達もMacを介在に人間について考えているようなところがありますが、Macに惚れた共通した理由は、ユーザーインターフェースの卓越したコンセプトではないでしょうか。Macの人間側に立った振る舞いにMacのファンはほのぼのとした愛情を込めて「マックは...」といい続けているのです。

MIXのmac/mainに発言している人達も、この思いに裏打ちされた香りを漂わせています。Macに初めて出会ったときの感激を代弁するような発言を紹介しましょう。このメッセージを読んだとき思わず「そうだ、そうだ」とうなづいてしまって、ぜひみんなで共有したいと思い、書かれた吉村さんに転載の許可を頂いて掲載するものです。

標題：アニメーション

ある日、設計部門のドラフターが並ぶ中を散歩しているとテレビがあった。

実は、僕は最初にこのマッキントッシュを見たときテレビだと思ったのだ。

これ以上何も拡張する必要がない、とでも言いたげな自己完結的なデザイン。

僕は自分のマックプラスを見ると時々、あの設計フロアで見たときの彼の印象を時々思いだしている。

僕は電源を入れてみてくれ、と言った。「ブーン」という反応があった...

ゲッ！うーむ、これは只者ではない！この電源オン時のこの音、これは、企画者がわざとこの音を選んでいるのだ！コストや技術的な都合によって採用した部品によって電源オンの音が決められてしまっているのではなく、こいつを企画した人間はこいつにはこの音しかない、と思い入れ強く演出したのだと思った。電源が入って画面が明るくなった時、僕は目を見張った。画面に現われたものはディスクの絵だったがそのディスクに「？」マークがついている。僕は咄嗟に理解した！彼はディスクを要求しているのだ！僕は大笑いした。僕は瞬間的にその意味を理解したのである。

なにかベットの餌をやるような気持ちで、手前にあったディスクを一枚彼に投じる。

咽を鳴らしているような音がしはじめると、彼がにこっ、と笑った。げっ擬人化されている！うーむこれは本当に只者ではない。彼を笑わせることは全く本来の機能には貢献しない無意味な機能だ。しかし、これは大事な演出である。ユーザーはこれによって自分のディスクを投じた操作が正しかったと、理解できるのだ。

それに「ニコッ」と笑われると [初めて使う電子機器] という緊張感からユーザーは解かれる。

咽をならす音が無くなった。彼が止まった。すると画面の右上にディスクが一枚現われている。沈黙が訪れた。僕はその状態が何を意味するのか、今度はわからなかった。「吉村さん、これを動かしてみてください。」電源を入れてくれたエンジニアが僕の手の上に煙草大の物を渡してくれた。言われた通りにした。「えっ？」「ほらこれが動いているでしょう」僕はモニターの上でずるずる動いている矢印を見た。「あれっ?!」一瞬、機械的に繋がっていると思ったほど見事にプロポーション的に僕の手動きと画面のそれは繋がっていた。マジックハンドで遠隔操作しているように。

「ディスクをチョチョンして下さい。」「えっ何？チョンチョンって？」彼の手は僕の手の上から2回圧力をかけた。すると...

ディスクから一瞬煙が出たのかと思ったがそれは煙ではなく「枠」で、その「枠」は大きくなると止まった。「えっこれ何？」「いや、このディスクの中身ですよ。」彼は物分りの悪い僕からその煙草大のインターフェースを取り返して、その枠がディスクに収まるところ、またディスクからシューと開くところを何度か僕にやって見せた。「枠」は大きくなるとその当時僕でも知っていたマルチブランが絵というか「マーク」で書き表されており、マルチブランで作成されたと思われる文書はいかにも表計算ソフトで作りました、というように罫線が描かれている「マーク」になっていた..

僕は絶句したのである..。しばらく黙り込んでしまった。やられた、と思った。

これ以上の表現が考えられるだろうか。ディスクを投げた後、右上角にディスクの絵が現われたのは今僕が投げたそのディスクをデフォルメしてそこに映しだしていたのだ！「今お前が入れたディスクはこれだということにしようよ。」という表現だったのだ！しかももっと驚愕することは、ディスクのディレクトリーの出し方を、これから見せるウィンドーはこのディスクの中身なんだよ、という具合にシューとアニメーションさせたことだ！もはやこれは「ディレクトリーを見る」というコンピューターの操作感ではない。まさにディスクの中身そのものを見ているという錯覚に陥る！僕はこれを考え出した人間の英知というよりは大胆さに呆然とした。

もうそこに答えがあったのである。

僕はその日、一日何度も「シュー」を繰り返した。最初にマッキントッシュに出会った日、1983年11月15日のことだった。

吉村司 (tukasa)



PC-VAN NOW

by 照井芳夫

今回は私の担当でPC-VANを紹介することとなりました。商用BBSへのアクセス経験が浅いのですが、友の会会員でPC-VANに入って居る人が少ないという事なので未熟を顧みずお引受けする事と致しました。

File Edit ASLTalk 18 06 A

PC-VAN | 1200-8-1-N-X-FULL | 100% | Log | Up | Down | Stop

PC-VANは日本電気が運営
していて、日本に於ける商用BBSの草
分け的存在であり1986年4月に無料で
サービスを開始しました。1年後有料
となり会員数は本号が発行される頃
には6万人の大台を超えるという事
で国内最大のネットワークとなります。



特長の一つは**通信回線**に
あります。回線は日本電気自身がVAN事
業用に開設した回線網 C&C-VANを使
用しています。この C&C-VANを我々
が身近に利用できるものに、PC-VAN
の他に「C&C-VANデータベースサ
ービス」米国 GE Information Services

の運営する一般コンシューマ向けパソ
コン通信サービス「GEnie」が有り
ます。PC-VANの会員が加入する為
には別に入会金が必要です。

PC-VANそのものの**特長**は、
120を超えるSIG単位の運営が中心で
SIGのあまりの多さに「SIG探検！」と
いう門がSIGの入り口になっていて、
その門の脇には「SIG探検ガイド」と
いうコーナーまで用意されて居ます。
SIG以外のサービスには、電子メ
ール・電子掲示板・情報ファイル・
ショッピング・電子会議・オンライ
ントーク・CUG が有ります。
電子掲示板は一般、テーマ別、地
域別に合計31個も有ります。
情報ファイルは60数個に分かれて
いて、一般会員は読むだけです。

SIGのメニューは基本形式が統一さ
れています。一例を紹介しますと

MAC LOV (MAC)

1. このSIGについて
2. 電子メール
3. フォーラム
4. ライブラリ
5. -
6. -
7. PDS
8. -
- E. コーナー終了


こんな具合で、SIG単独でも小さな
BBSの機能が完備しています。
「PC-VANはBBSの集合体」と言わ
れる由縁です。

File Edit Terminal Speed Font 9 18 A

PC-VAN

さていよいよ**Mac**関係ですが、
【MAC LOV】とグローバル・ビレッ
ジのフォーラムNo10【Mac the Knife】
の2箇所のSIGが有ります。
5月12日現在
MAC LOVには
1. MAC TALK
2. ソフトレビュー
3. テクニカルボード
の3つのフォーラムで、計2,700余の
メッセージと、130数本のPDSが有
り、Mac the Knife には約1,000のメ
ッセージと、300余本のPDSがUPされて
いました。

この数字を見るとどちらがどうなっ
ているのか良く分からず、両方共覗い
ていますが、「岩手Mac友の会」の
会員にとっては野村会長を初めとする
先輩方の情報が豊富で、「林檎」と
「盛岡BBS」を見ている限り時代に
取り残される心配は無い様です。

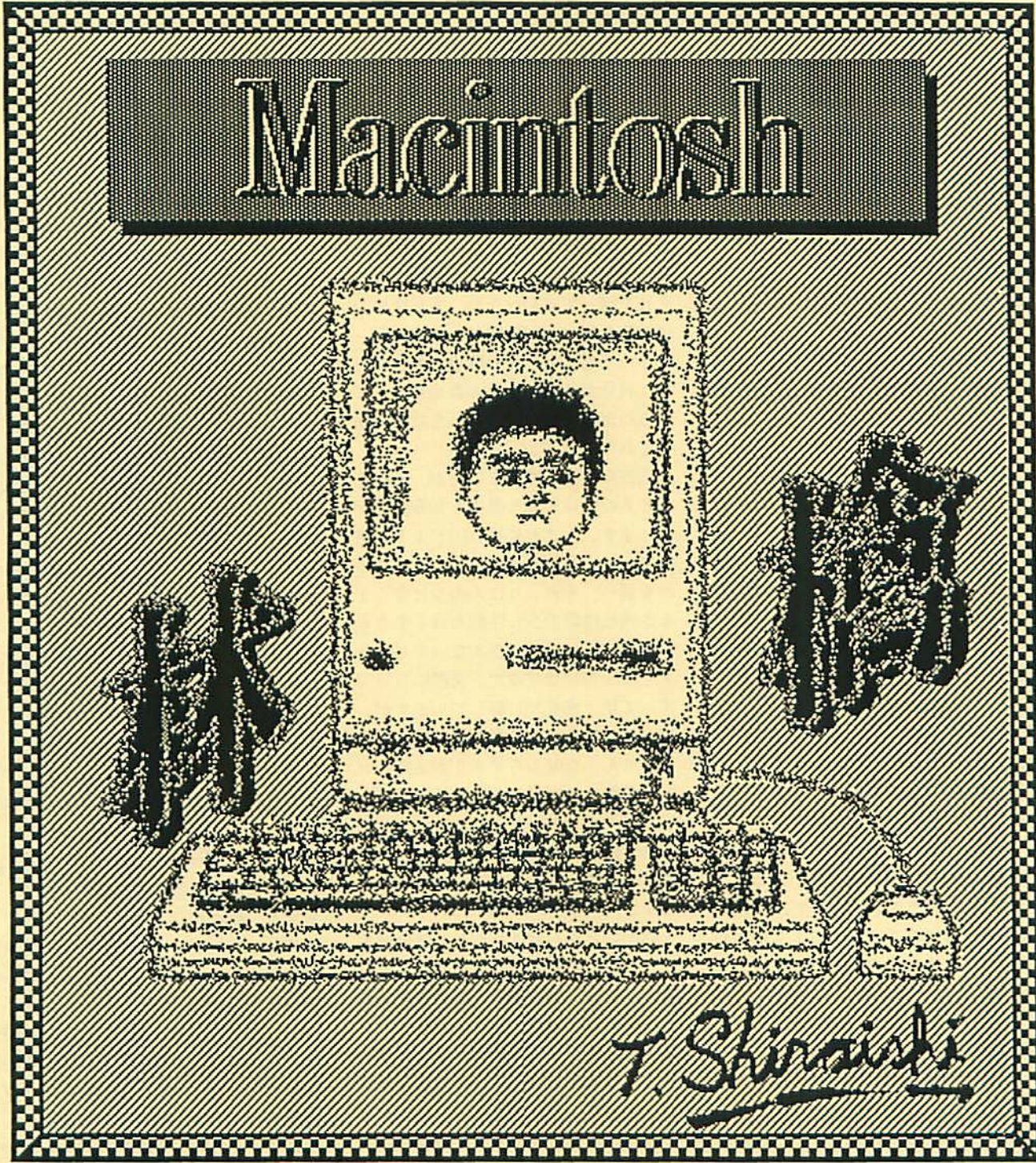


という訳で私の場合あまり真面目に
見ていません。各フォーラムのタイト
ルをダウンして整理し、ちょっと気
になるタイトルの本文のみ読んでいま
す。最近の話題はやはり漢字Talk 6.0
に関するものが多く、漢字Talk 6.0で
Multi Finder 6.03を使用したレポート
等を興味深く読ませて頂きました。

最近世間的に**話題**になったの
は、5月2日付け朝日新聞朝刊に掲載さ
れた「天皇パロディメッセージ削除要
求事件」ですが、いよいよパソコン通
信もメディアとして社会的影響力が出
始めてきたというところでしょうか。
会員も、運営主体も、そしてこれを
記事にしたオールドメディアもまだま
だ不慣れで、「パソコン通信元年」
の感がしました。

パソコン通信が言論の場として
成り立つかどうかについての議論
は、本紙になじまないので別の機
会に譲ります。

林檎ギャラリー



《自画像》

白石隆

from BBS

MACは高い？

by SASAKI

アップルは最近SE30、MACIIcxなど矢次早に新機種を発表しており、とまどいを感じておられる方も多いことと思います。買い替えようかなと思っても、日本での価格がUSAでの価格に比較して、あまりにも高いのではないかとということで不満を持つユーザーが多くなっています。

そこで今回は、Macの機能、価格、満足度などの面から、かつて議論された「Macは高いか安いかわかるか」をお送りします。

誌面の都合で内容を一部割愛させていただきます。礼儀を欠いた方法ですがご容赦ください。

◎ 90NOMURA 88.09.26 10:06
マックは本当に高いか？

Macintoshは高いという話をよく聞きます。かく言う私も数年前に定価64万円のマックプラスを買った一人です。そのマックプラスも今では価格が398000円に下がったうえ、メモリーが2MBに拡張され、さらに値段を付けるのが恐ろしいほど高機能が話題のハイパーカードまで付いてきます。本当にこれから購入を考えている人はラッキーだと思います。

こんな事を考えているうちに、フツと思ったのですが本当に高いのでしょうか？(中略)できるだけ公正に自分で値段を付けてみようと思いました。つまり、いくらにあたいするか？考えてみました。

まず、現在従来からのユーザには9800円で売られているハイパーカードから考えてみましょう。他のデータ・ベース・ソフト類とのバランスを考えると10万円は下らないと思います。でも本当のところは、怖くて値段が付けられません。なぜなら比較できる市販ソフトが見当たらないのです。

(中略)

さて、いよいよマック本体を考えてみましょう。

その前にもう一度立場をはっきりさせますが、いくらなら買うかではなく、いくら支払うに値するか...ということです。この考え方は以前ラジオで永六輔さんが、彼の師から教わった話として紹介していた、「物の値段は自分で決めて、どんなことがあってもそれを譲ってはいけぬ。もし決めた値段より高ければ断固として値切り、安かった場合は自分の慧眼の無さを恥じて自分が決めた値段のお金を払って来るのが男の道だ。」という言葉に影響されています。

前置きが長くなりましたが、価格を決めるにはやはり相場を知る必要があります。つまり他社の同じような機種がどれくらいの価格で売られているかを調べ、それよりほんの少し安くするか同じ値段で少し性能を良くするかですね。私は職業柄色々なコンピュータを使っていますので、実際に自分で使って見た感覚で判断していますが、マックの場合カタログ性能では比較できません。なぜならマックが支持されている最大のポイントである、優れたユーザーインターフェイスとか、統一された快適な操作環境などがカタログ性能から読み取ることができないからです。

このことから私はマックの競合機種として、いわゆるパーソナル・ワークステーションが妥当だと思います。具体的にはIBMのPS/2、ゼロックスのJ-STAR、日立の2050、NECの4800、NCRの9005-11/E、Sun MicrosystemsのSUN2/3さらにSonyのNEWSあたりでしょう。これからマイナス要素の画面の小ささ、CPUが16ビットであること、拡張ス

ロットが無いことなどを考慮しても、100万円位の価値はあると思います。

皆さんはマックにどれくらいの価値があると思いますか？

満足度はいかがですか？

From 90NOMURA 野村。

◎ 90MAC003 88.09.26 16:54

マックの値段、私の考え。

明日から病院を留守にするので、ガチャガチャとしているのですが「マックは高いか？」という興味ある提案が載っていたので、思わず書いてしまっています。「マックは高いか？」という事を考える前提としてやはり、これを仕事で使用するのか、あるいは純粋に個人の趣味の道具として捕えるのか、はたまた、家庭の中での愛される道具(ペットのような)として考えるのか...でその価値観は大きく変わってくるのではないのでしょうか？つまり、以上述べたようなシチュエーションに於いて、使う個人の価値観がそれぞれ異なるはずだ...と思うのです。(中略)私の場合はどうでしょうか？現在私は主としてマックを仕事で使用していますが、この場合は絶対に「安い！」と太鼓判を押してしましましょう。何故なら他機種と比較しても非常にフレキシビリティに富んだ(これは仕事では逆に問題かも?)高速のワークステーションとLANが、部外者のサポートなしで(中略)やる気になれば安価に展開可能だからです。しかも、専属のシスオベなど必要なく私の様なコンピューター音痴でも出来たのですから、これは安いと思わざるを得ません。

次に個人の趣味の道具としての場合。これは本当に人それぞれ異なると思いますので、一概に規定することは危険だと思うのですが、少なくとも「趣味」と名の付く限り「収入に規定されて買えるか買えないか？」ではない...と思います。(中略)私は最初趣味の価値観において、ファットマック

(512K)を七九八〇〇〇円也でローンで買いました。(中略)個人の趣味に立ち返って考える時、私が考えることはただ一つ「どの程度で我慢できるか」です。現在の私が自分のマックで行えることなどたかが知れていますが、それでも結構満足しています。それはきっと仕事でマックを思い切り使える環境を自分で作ったからだと思えますが・・・

さて、最後に「愛される家庭におけるマック」ですが、これが一番難しいでしょうね。何故なら、現段階でもマックは「ファミコンより難しい」からです。この際に最も問題になるのはきっと「OS」等という世界がマックに存在するからで「一目見ただけで理解可能な世界ではない」からです。(中略)私は少なくとも家人に何の説明もなく買い与えてきた一般家電製品と同様な「やさしさ」をマックには感じていないのです。(中略)こう言った状況の中で、家庭にマックを持ち込み、それを「ほらこんなに優しいコンピューターだよ」と言って正当化しようとしても、そんな事にはごまかされないだけの厳然とした「価値観」を世の一般的な奥様達はお持ちなのではないかしら?と思います。これはマックだけの話ではなく、コンピューター全般の話でしょうが、「コンピューターがどんなもので、何をするのか?」についての啓蒙が全くなされていないからなのです。きっと。「コンピューターは冷蔵庫より偉い!」と叫んでみても、「それで氷が作れるのでしょうか?」といった支離滅裂な論争になる可能性があり、結果的に「持ち込んだ者の自己満足」と評価されてしまうのです。こう言った環境の中で考えるとやはりマックはまだ高いのかも知れないなあと思いますが、値段だけで判断すべきではないようにも思います。仕事で、個人で、家庭で「高くない」と判断されるべき環境設定を含めた「マックの位置」がむしろマックの値段を決定するのではないかと思うのですが・・・

では、「マイアミバイス」の世界に

行ってきます。また来週!

© 90MAC015 88.10.01 16:06
Macはもっと安いほうがいい。

私はMacは高いと思います。安ければ、安いほどいいと思います。

高いのにどうしてMacを買ったかと言えば、他のもの、たとえばPC98等を買うよりも安くつくと思ったからです。そして現実にPC98よりもずっと安く済んでいます。512kに始まり、plusを経て今の32bit CPUに至るまでずっと同じ本体をパワーアップしてきました。今度は80MBのinternal hard diskを付けたいなァなどと考えておりますが、今まで、何一つ無駄な買い物はしておりません。Mac以外のものを買っていたら、今まで、何台買い替えてはならなかったのかと思うと無上の喜びを禁じえません。おまけにその間、基本的にずっと同じ操作環境であり続け、しかも制作物が無駄になっていないということも特筆すべきことだと思います。512Kの頃に作ったほとんどのものが今でもそのまま利用できる訳です。一つのことを愛着を持って使い込んでいくのは、気持ちのいいものですが、秒進分歩のこの分野で、こんなことは滅多にできることはありません。

だからといって高くてもいいとは思いません。(中略)

Macが今の半分の値段なら、すべてのMacユーザーが、2台のMacをつないで本当のmulti taskを今すぐ実現できるようになると思います。関連機器ももっと安いに越したことはなく、たとえばFull page displayを使ったり、アクセラレーターを使ったり、レーザ

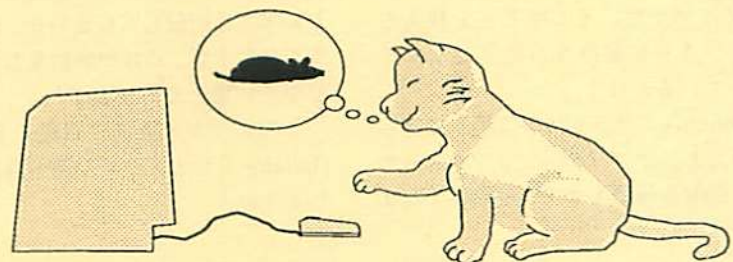
ライターを使ったりできるようになりたいものです。

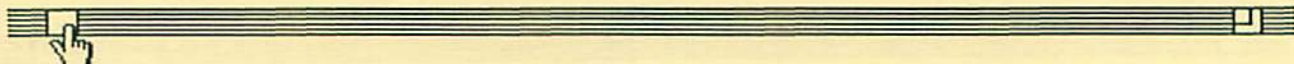
私は安ければ安いに越したことはないと考えますし、実際、これからもさらに安くなっていくだろうと考えています。

また、先日こんなことがありました。仙台でキャノワードを使っている友人から、何ヶ月振りかで電話がかかってきて、その中で、今までのワープロでは満足できなくなったので、今度新しいキャノワードを買ったというのです。キャノンからはMacをすすめられたが値段が高かったから止めたというのです。馬鹿だなァ長い目で見れば、ちょっと無理してもMacの方がいいのに、と私はいいました。この間、仙台に行ったとき(中略)作った文書だけ見せられたのですが、びっくりしました。本当にびっくりしました。56ドットだというその印字はまるで活字なのです。私は、PostScriptによる日本語レーザーライターにかなり期待しています、きっと素晴らしいものになると思いますが、その印字を得るための費用は一体いくらになるのでしょうか。ゼロから始めるとなるとMac, hard disk, LaserWriterそしてFont自体の値段などを合わせると、200万円近くになってしまうのではないのでしょうか。友人のキャノワードは17万円だそうです。私はMacの方がいいよとは、とても言えずに帰って参りました。

あれもできる、これもできるというのは大変結構なのですが、その上値段が安ければ、なおさら結構だと思います。

徳富でした。



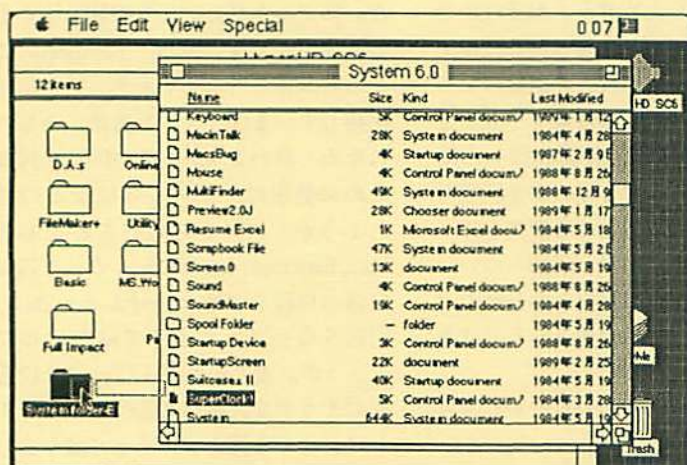
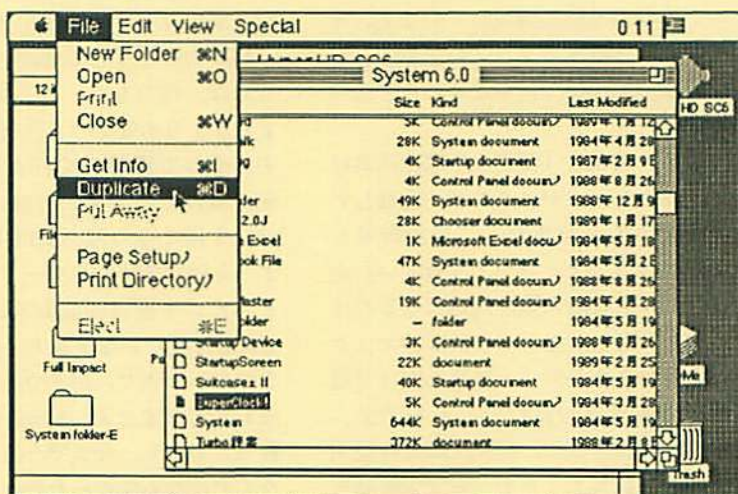


余計なお世話 ...by 野村行憲

皆さんは同じファイルを違うフォルダーに入れるとき、どのような方法で行っていますか？たとえば日本語のシステムフォルダーにSuperClockが有って、英語のシステムフォルダーにも入れたいときどうやってコピーしますか？

普通は右の図のように、コピーしたいものを選んでファイルメニューの複製を選んでできる、...のコピーという名前のファイルを、希望するフォルダーに持って行ってから、更に名前を元に戻す。という手順でやっていると思います。

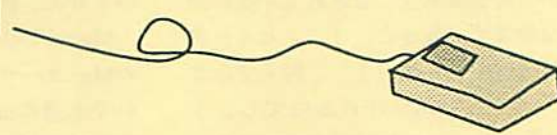
ところが、これをいとも簡単にやってしまうことができるのです。



それは左図のようにコピー元とコピー先の両方が見える様にしておいて、Optionキーを押しながら目的のアイコンをマウスでドラッグします。これだけでそのファイルが移動ではなくコピーされます。(しかも同じ名前で)

つまり、Option+ドラッグは移動ではなく、複製になるということです。

媒体が違う場合は、単なるドラッグで複写できるのはご存じのことと思いますが、同一の媒体上でも行えるようになっているのですね。



Option+ドラッグでもう一つ別の機能を紹介します。でも、これは危険なのであまり使わないようにしましょう。

だれですか、そんなことを教えるのは、本当に余計なお世話だなんて言っているのは？

Option+ドラッグでゴミ箱まで持って行くと、アプリケーションであっても、削除の確認をせずに削除してしまいます。

つまり強制削除の機能があるので、Finderは通常、削除のとき、単純なドキュメントであればそのまま削除し、アプリケーションのときは、念のため本当に削除しても良いか、確認してくれますが、これが余計なお世話でしつこい場合もありますね。

このようなときに、自信を持ってOption+ドラッグでゴミ箱へ直行しましょう。

誤って必要なアプリケーションを削除してしまっても当方は一切責任を持ちませんので、悪しからず。

そろそろFinderのネタが切れてきたので次回からは何の話にしましょうか？

困ったなあ、ネタが無いなあどうしようかなあ。誰か私に余計なお世話してくださいネ。^^

IMF 掲示板

Mac セミナー開催決定!! 奮ってご参加ください。

日時 7月8日(土) 午後2時~5時
 場所 盛岡市上田公民館 第1集会室
 テーマ はじめてのハイパーカード
 -入門からグラフィックまで-

案内役 佐々木幸司
 参加費 会員 1,000円 / 非会員 2,000円

編集後記

ああ、面白かった。最後の仕上げは杉村さん! 宜しくお願い致します。(徳富)

やっと初心者の私にも、会報の編集が何となく解かってきた様な気がします。しかし、DTPはアイデアです。(高橋)

今回は他人のふんどしで相撲を取ったようなもので、大きな顔して打ち上げに出られないんじゃないかと思いつつも、これがなくてなんの編集かと声を大にして肩で風切って飲みに行きます。次号はガンバラ。(福田)

実質作業にかかわって2号目。おかげさまでPageMaker2.0Jを少し使えるようになりました。皆さん、林檎を編集してPageMaker2.0Jに強くなりましょう!(藤村)

いやはや、編集は、重箱をつつくようにチェックするんですね。日本語はむずかしいことを再認識しました。(白石)

PageMakerが少しは使えるようになったのが最大の収穫。編集作業中に、家の方で飛び込みの用件がありPageMakerのお世話になりました。

(照井)

BBSに書いているときは、気が付かなかった誤字脱字が、編集委員の構成で指摘され、普段の誤りがいかにわかりかと、不安になります。(野村)

林檎の編集も、3回目ともなる

と、緊張感が薄れルーティンワークになった気がします。(佐々木)

臨時増刊号のお知らせ

第1号、第2号と会員自己紹介のコーナーで会員のプロフィールを掲載してきましたが、新会員も増えてきていることもあって、このペースでいけば全員を紹介できるのはいつになるかわかりません。そこで、増刊号として「自己紹介特集号」を発行することといたしました。皆さんの自己紹介の原稿をお願いします。必要な項目は次のとおりです。

- 1 名前、生年月日
- 2 BBSのID番号
- 3 職業
- 4 住所、電話番号
- 5 Macの機器構成
- 6 趣味
- 7 会員へのメッセージ
- 8 自己アピール
- 9 Macをどう使っているか

以上の項目をワープロソフト等で入力したフロッピー及び顔写真を7月15日までに下記の住所あてお送り下さい。(フロッピー、写真はお返しします。)既に掲載された方で書き直したい方もどうぞ。

025 花巻市愛宕町3-19
 徳富 亘

会報「林檎」では会員の皆様からのご投稿をお待ちしています。

お気軽にご連絡くださいますよう、お願いいたします。

会員名簿

Dick Harry	盛岡市
Evelyn Harry	盛岡市
Richard L Lammers	盛岡市
浅田 昌彦	和賀町
浅沼 清智	花巻市
浅野 恵治	花巻市
荒木 健次	東京都
伊崎 誠一	盛岡市
大川原 清	滝沢村
沖野 覚	二戸市
小沢 徹	盛岡市
桂川 茂彦	盛岡市
兼平 信一	盛岡市
菅野 卓矢	盛岡市
工藤 道範	盛岡市
熊谷 朋也	盛岡市
香城 孝磨	盛岡市
小松 寿夫	北上市
斎藤 武	盛岡市
斎藤 怜	盛岡市
佐々木 幸司	盛岡市
佐々木 俊光	胆沢町
佐藤 護人	盛岡市
猿橋 浩昭	北上市
渋谷 誠	盛岡市
白石 隆	盛岡市
菅原 健蔵	盛岡市
杉村 是光	盛岡市
鈴木 卓	軽米町
鈴木 昌男	盛岡市
瀬川 和	盛岡市
戦場 浩一郎	盛岡市
高島 晃	盛岡市
高橋 伸次	盛岡市
武元 慶司	盛岡市
田中 幸夫	盛岡市
谷藤 恒	盛岡市
照井 芳夫	花巻市
照井 亘	花巻市
徳富 賢司	盛岡市
中居 順	流山市
中島 光茂	盛岡市
西島 聰彦	八戸市
根本 行憲	盛岡市
野村 三千代	盛岡市
平野 健次	盛岡市
福田 健一郎	盛岡市
藤村 則美	盛岡市
本多 貞治	盛岡市
米谷 拓次	盛岡市
真館 一之	盛岡市
松倉 利昭	都南村
三浦 吉範	盛岡市
三浦 三吉	浄法寺町
村上 誠一	盛岡市
村上 弘行	盛岡市
村上 寿	盛岡市
村川 善次	沼南町
望月 康司	盛岡市
本館 貞吉	花巻市
森 淳	盛岡市
山本 新二	千蔵町
吉田 松	盛岡市
吉田 弦	盛岡市
吉村 政	盛岡市
和田 政	釜石市?
	矢巾町

「林檎」3号は...

ASLTalk
ByWord
Color Magician
Digital Darkroom
EG-Bridge
EG-Word
Freehand
Illustrator
MacPaint
MacVJE
NinjaTerm
PageMaker
QuarkXPress
SuperPaint
Sweet JAM
Turbo-Jip



等で作ったものをPageMakerでまとめて、LaserWriter II NTX-Jでプリントしました。

1989/6/8 創刊第3号
発行 岩手Mac友の会
代表 野村行憲
盛岡市月が丘 1-1-36
